

【新連載 知っておくと、お得情報】 受験者の言語能力を把握してみよう！ 第1弾 入職1年目受験者の「基礎言語能力」チェック問題

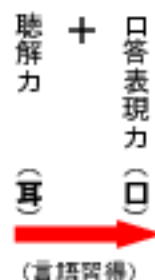
- E P A受け入れ機関にとって、【知っておくとお得情報】の中で一番、関心が高かったものは、「受験者の日本語能力を具体的に把握する方法」だった。
- その根拠は、弊社に寄せられている【施設・病院の声】の大半が、委託している日本語教師や専門学校等から、「具体的な教育の成果を含めた報告が、ない」という声が多かったからだ。 その中では、「受験者の日本語力が分からないので、困る」という声が一番だった。
- そこで、弊社では今月号より、「受験者の言語能力を段階別に把握できる方法」を詳しく連載する。今月号では、まず【基礎言語能力】が本当にあるのか、どうかを見るための小テストを2頁用意した。この小テストは、構文式で答える試験だ。
- テスト結果を弊社に送付して頂ければ、詳しく考察してお返しするので、是非、これを機会に受験者の言語能力を「客観的な数値で把握」してほしい。

【受験者にごまかされていないか？ 日本語能力を！】

1. 「音声言語(会話力)」の弱点

- 音声言語は、0歳児から現代では4歳児位までに、基礎的な言語能力が養われる。即ち、単語を中心とした言語力で、身近で、簡単な意思疎通ができる範囲に留まる。
- 表1を見れば分かるように、第一に、「耳」で捉えた音声を理解して、次に、その音声に対応し、「口」で音出しするのが、基本的な手順だ。受験者はこの程度の言語力の反応であることが多い。
- 受験者の反応の仕方が、「一語だったり、助詞がない言葉の羅列」であった場合には、職員の指示等が理解できていないことを表し、その反応にごまかされる。
- その結核、職員の意志が正確に相手に伝わらないために、混乱する。これが音声言語の特徴であり、欠点で、弱点だ。さらには、読み書きが不十分なために、文字を必要とする仕事ができない事だ。

表1、
【音声言語能力】
(会話力)



2. 「マークシート試験では、絶対に、分からない「日本語能力」」

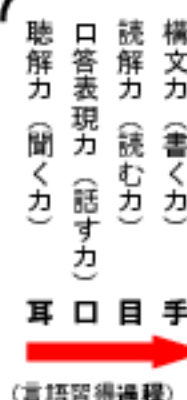
- マークシート試験は、「本質的に選択するだけの試験」で、極論を言えば、言語能力がなくても選択できれば良いだけのものだ。即ち、正解率を問わなければ、幼児でも受験できるようなものだ。
- 受験者にとっては、表2に表した読解力があれば、正解率が高まる。但し、専門語彙や知識が不可欠となる。この方式の試験は、暗記法だ。
- 「読解力」は【読めても書けない言語能力】の範囲で、【文字言語能力】があるわけではない。そのために、「意思疎通するための基本技能がない」から、仮に、合格できても、実務能力はない。
- 即ち、「読解力」だけでは、仕事ができない人材育成となる。

表2、
※
読解力(読む力) 目
にできない試験方法
を把握することが
言語能力を客観的
に把握すること

3. 「人間に必要な「四つの基本技能」があれば、言語障害者」

- 現代社会では、世界共通の言語知識として、表3で表した【文字言語能力】を、学校教育で養っている。受験者にとって、外国語である「日本語教育」は、母語能力と同様に、【四つの基本技能】を身につけることを、当然ながら望んでいる。
- 外国人が日本人と同様に生活し、さらに、仕事をする以上は、「言語障害者になつては、生活できない」ということを、日本人は理解すべきだ。
- 「言語障害者」にしないためには、偏った言語技能の教育を絶対しないことが、重要な事だ。
- そのためには、「体系的な学習計画(3年間計画)」を創り、意識的に【四つの基本技能】を養える学習環境の整備と、専門家の指導に従うべきだ。

表3、
【文字言語能力】
(基本技能)



4. 「実務能力を養うためには、「四つの基本技能」が必要」

- 表3にある【四つの基本技能】を確実に身につければ、「国家試験受験能力」と専門知識の習得によって、「国家試験合格能力」が養える。
- また、その能力は【生活言語能力】と、【職域言語能力】をも、身につけることができる。その結果、日本で生活が安定して、職場での【実務能力】が備わり、「職場での人間関係」が良好となる状態を、保持することができる。もし、「言語障害者」になれば、その環境はない。
- 表1と表2に該当する受験者は、言語能力の基準から見ると「片肺飛行」の状態で、明らかに「言語障害者」に該当する。
- 受け入れ機関の人材不足を解決するためには、単純に国家試験合格を目指すだけではなく、合格後に有力な人材を育成する経営方針が最も重要となる。

【国家試験受験能力到達度試験】(基礎言語能力試験N01)

※1 この試験問題は、入職して1年目に行う試験だが、2年目以上の者でも受験して良い。試験時間は、60分を8分間以内で行う。解答の仕方は必ず、(主部+述部)の文で書かなければ、正解としない。

※2 正解率が75%以上なければ、「基礎言語能力」がないとする。【到達度試験】参加者は、参加後1か月目に、この試験を受ける。1か月間の学習の結果を数値で評価するので、**自学意欲が向上**する。

マリアさんは「右半身まひがある」佐藤さんのズボンを臥床したまま交換します。



マリアさんは佐藤さんの健側に立ち、健側のひざを曲げます。

次に、片手で腰を支えて、ズボンを臀部の下まで下げます。

そして、ひざを曲げたまま、ズボンをひざ下まで下げて、

健側、まひ側の順に脱がせます。

その後、新しいズボンをまひ側の足、健側の足の順にはかせ、大腿部まで上げます。

最後に、健側のひざを立てて、腰を支えながら、ズボンを引き上げます。

※ 上の文を読んで、下の質問に答えなさい。

(質問) 佐藤さんは体のどこにまひがありますか。

(答え) _____

(質問) マリアさんはどこに立ちますか。

(答え) _____

(質問) ズボンを下げる時 マリアさんは片手で何をしますか。

(答え) _____

(質問) ズボンをどこまで下げますか。

(答え) _____

(質問) 新しいズボンをはかせる時 どちらの足を先にはかせますか。

(答え) _____

(質問) マリアさんは佐藤さんをどうしていますか。

(答え) _____

【試験実施日】: 年 月 日

【施設名】:

【受験者名】:

【教育担当者名】:

【国家試験受験能力到達度試験】(基礎言語能力試験N02)

※1 この試験問題は、入職して1年目に行う試験だが、2年目以上の者でも受験して良い。試験時間は、8 時間を 8 分間以内で行う。解答の仕方は必ず、【文型】に合わせた文で書かなければ、正解としない。

※2 正解率が 70%以上なければ、「基礎言語能力」がないとする。【到達度試験】参加者は、参加後 3 か月目に、この試験を受ける。3 か月間の学習の結果を数値で評価するので、**類推能力が向上**する。

反対 (⇔) の言葉を () に 書き、文を 書きなさい。

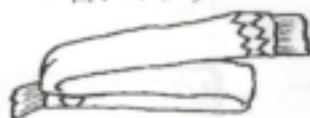
(例)

長い ⇔ (短い)

白いマフラー

赤いマフラー

青いマフラー



【文型】 □□は □□より □□くて、□□より □□いです。

(成文) 赤いマフラーは 青いマフラーより 長くて、白いマフラーより 短いです。

遠い ⇔ ()

【文型】 □□は □□に □□くて、□□から □□いです。

(成文) _____



熱い ⇔ ()

【文型】 □□は □□くて、□□は □□いです。

(成文) _____



(みそ汁)



(ビール)

脱ぐ ⇔ ()

【文型】 □□は □□では □□を □□するが、□□では □□する。

(成文) _____



(コート)

就寝 ⇔ ()

【文型】 □□は 午前□□時に □□して、午後□□時に □□する。

(成文) _____

【試験実施日】: 年 月 日

【施設名】:

【受験者名】:

【教育担当者名】:

施設の声

※ 今回は、多くの【施設の声】から抜粋して掲載した。「共通の声」として言えるものは、『① 受験者の日本語力が比較できない ② 教育効果が具体的に見えない ③ 学習成果の報告書がない』等が非常に多くあった。

専門学校から教育報告がないので困っている！

- 神奈川県で専門学校に週一回通学させているが、それだけでは到底、国家試験には受からないので、施設で独自に日本語教師に依頼して、指導してもらっている。
- しかし、受験者が専門学校の授業についていけないのかも、確認できないので、専門学校から教育の成果に対する報告書が貰えたら、指導に役立てることができるのに、報告がないから指導に困っている。（神奈川県・M施設）

日本語教師の指導力がないために、専門知識も学習できない！

- 日本語教育は日本語の先生に任せて、専門教育は介護職員が行っている。しかし、先生の指導の仕方は、日本語学習はゆっくりやって、受験対策に入ると、急にピッチを上げて指導するので、受験者が対応に困っていることがよく分かる。
- 簡単な参考書や国家試験問題は、ある程度読めて理解できていると思いたいけど、もともと、受験者の日本語の語彙が少ないために、専門用語となると、とても対応できないのが現状だ。
- 以前は、「ある程度まで日本語学習をさせたら、すぐに受験対策に入っても良い」のではないかと考えていた。だが、現状の日本語力を考えると、日本語学習の効果がないために、専門教育も理解できないので、どうしたら良いのかが、分からなくなって、困っている。（愛知県・A施設）

受験者任せの状態が続く…これで良いのか！！

- 受験者の日本語力を他施設と比較することができないために、この調子で、学習を進めていっていいのかが、良く分からないし、今後が不安だ。
- 今は、日本語学習を中心に、事業団が送ってくる定期の漢字テストなどをやっている。しかし、このテストは出題範囲が決まっているために、学習すれば点数がとれる問題だが、うちの候補者は正直、毎回下の方の順位だ。
- 職員は週一回、業務があいている時間を見計らって、見ている程度で、施設内では特別に学習時間はとっておらず、自宅で学習させている。人手が足りないから、業務を中心にさせて、身体を使うことや、単純な仕事を中心にさせている。しかし、この状態を続けていくと、国家試験合格はとても無理だと思うので、何とかしたい。

（大阪府・M施設）

受験者は、詳細な施設情報を持っている？

- もう少し、正確な会話ができるようになってくれたらいいなと、感じている。どうしても、「言葉だけのやりとり」で終わっているから、意思の疎通が十分にできていないと、感じている。しかし、自分が外国で働く場合を考えると、そんなに外国語ができるとは思えないので、こんなものなのかなと、諦めている。
- また、受験者は同期EPAの候補者間で、横のつながりがしっかりとしていて、「学習時間数とか、教育の仕方とか、待遇とか等」の情報を、たくさん持っているから、常に、自分の施設との比較をしているようだ。（東京都・V施設）

元教員といっても、日本語教育は無理！！

- 元小学校の先生が日本語指導をしているが、介護日誌を書いたり、業務の打ち合わせ等をする時に、聴解する能力が足りないと感じているので、現場では、本当に困っている。
- 元先生だからといって、日本語教育ができるとは限らないことが、このことでよく分かった。考えてみれば、日本人の子供相手の教育と、外国人の大人相手の教育とでは、全く違う教育指導が必要なのに、元学校の先生というだけで、指導を委託したことが一番の原因だと思っている。

（京都府・M施設）

問題山積で、悩みが絶えない……！

- 現場は、業務ができるようになればなるほど、受験者達を頼りにする。もう少し、学習時間をとって学習させたほうが良いのではないかと、人材育成部側は思っている。だが、現場は人手不足になるので、学習時間を入れたいと言っていて、人材育成側との意見が対立している。
- 受け入れ人数が多いこともあり、徐々に、日本語のレベル差が出てきているので、そのあたりをどうにかしなければならぬとも、感じている。また、そろそろ、国家試験対策もさせないといけないとも、思っている。
- さらに問題なのは、当施設は女性を多く受け入れているから、受験者間での話題は、「結婚話や待遇問題等」が盛んになっている。当施設としては、仮に国家試験に合格できても、定着して、労働力になるのかが、いつも不安要素だ。具体的な対応方法等があれば、教えてほしい。

（奈良県・Y施設）

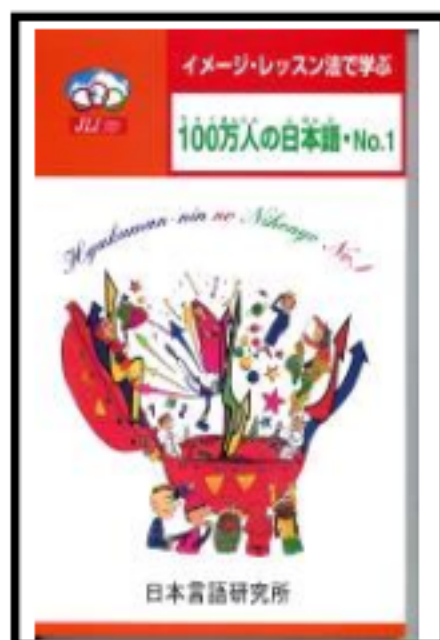
自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
- ③ 漢字も類推して読める ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

EPA学習支援
スカイプ・教材の無い会館
ことばの研究社
電話：086-431-3481
FAX：086-431-3482
岡山県倉敷市庄新町 9-4-12

学習支援 主教材

基礎言語能力レベル

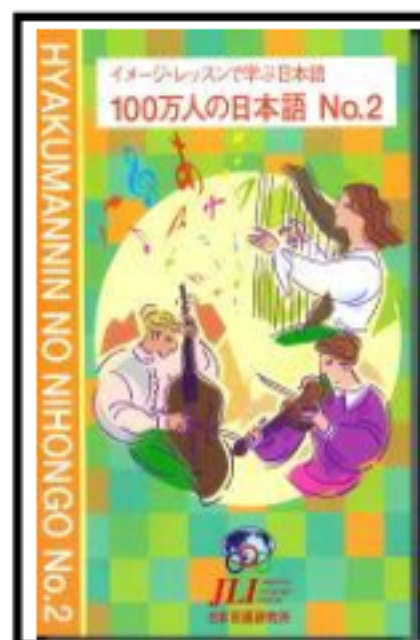


【テキスト「100万人の日本語 No.1」】

ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての言語活動の基本となる概念を形成し、名詞文・存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成となっています。(2805 円)

※ 習得漢字数 310 字～620 字

※ 習得語彙数 520 語～1560 語



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】

会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話文を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2805 円)

※ 習得漢字数 420 字～840 字

※ 習得語彙数 570 語～1,710 語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】

日本社会に適應できる人間関係を理解して、目上の人に対する礼節を保つ表現力が身につきます。

論理的に文を組み立てた長文が書けると同時に、漢字熟語を使った要約文を書けるようになります。

仕事に関連する語彙を自分で辞書を引いて調べることができます。(3,300 円)

※ 習得漢字数 850 字～1,700 字

※ 習得語彙数 1,110 語～3,330 語

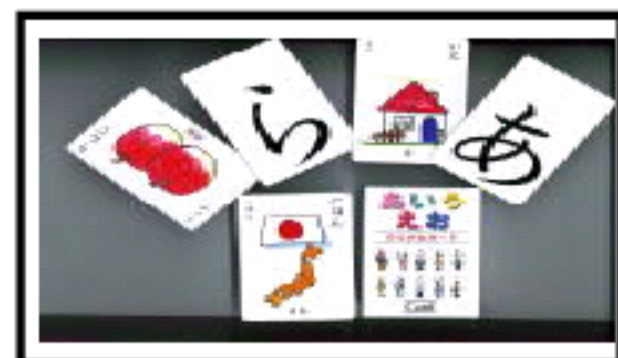
使ってみてビックリ！

教育効果の高さ

学習支援 副教材

基礎言語能力レベル

職員の手が掛からずに、
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。

イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。

(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもとこたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。

(1,980 円)



『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。

非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。

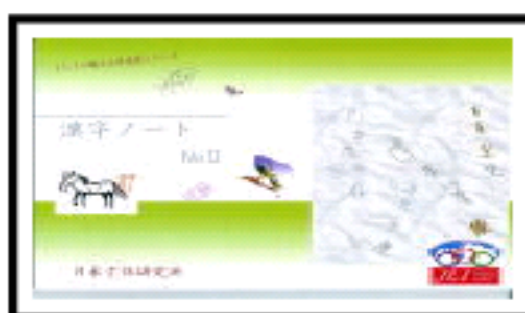
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されてされています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその育出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。

(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。

漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。

非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。

また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

◎ 到達度試験Aコース(独立型)

ことばの研究社

<自学能力養成型コース>

【一年目 到達度試験 初回レベル～Dレベル】

※ 【自学能力】を養うことを目的としたコースです。
言語能力は、日本人の中学2年生までの能力に達するようにプログラムされています。

※ 【自学能力】を養う教材を使用

主教材 ・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材 ・ひらがな絵かきと (瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と (構文力育成用)

・カタカナノート (説明文・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1 (基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2 (熟語漢字習得育成用)

・手渡し教材随時

【二年目 到達度試験 Eレベル～国試3レベル】

※ 日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。そのため、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文書で解答できる能力が育成できます。

※ 主教材 ・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【三年目 スカイク授業 5回(1回2時間)】

※ 日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

※ 主教材 ・専門参考書

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書提出し、現場の指導に役立てます。】

※ 【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※ スカイク授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※ ※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一 年 目	★基礎言語能力の育成 ①日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ②1,755語の基本漢字が習得できて、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ③会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで、できるようになる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できるようになる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができるようになる。 ④簡単な業務日誌が書けるようになる。
二 年 目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的に行い、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本語力を高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えられるようになる。 ②専門用語の漢字を「類推して読解」できるようになる。 ③自学で「過去問」ができるようになる。
三 年 目	★職域言語能力の育成 ①日本語を使った「業務実践力」を行える能力を養う。 ②会議等で意見を発言し、内容把握ができる能力を養う。 ③要約力を養い、会議等で的確なメモをとれる能力を養う。 ④日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できるようになる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して読み理解できるようになる。 ③マークシートの解答ではなく文書による解答ができるようになる。

◎ 到達度試験Bコース(併用型)

< おまかせコース >

【一年目 到達度試験(初回~Dレベル)+スカイプ】

※【自学能力】を養える【到達度試験】と対面教育ができる「スカイプ授業」を併用しています。

日本人の中学2年生までの能力に達するプログラムで、特に、正しい会話力が身につけられるコースです。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材・ひらがな絵かき(瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と(構文力育成用)

・カタカナノート(説明・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1(基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2(熟語漢字習得育成用)

【二年目 到達度試験(E~国試1レベル)+スカイプ】

※日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。

スカイプ授業併用型なので、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文章で解答できるようにプログラムしています。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【三年目 到達度試験(国試2,3レベル)+スカイプ】

※日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

日本人の職員と同等に業務ができるまでの能力に達するように、プログラムしています。

また、国家試験合格後でも、同じ職場で働く意欲を養うことも目的としています。

※主教材・専門参考書

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【指導内容】

①職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

②類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書を提出し、現場の指導に役立てます。】

※【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※スカイプ授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一年目

★基礎言語能力の育成

- ①スカイプ授業を併用するために、対面学習で、適切なプロの指導が受けられる。そのために、確実な日本語力が養える。
- ②日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。
- ③1,755語の基本漢字を習得でき、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。
- ④会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。

●日本語能力を養う

- ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで到達できる。
- ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できる。
- ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができる。
- ④簡単な業務日誌が書ける。
- ⑤スカイプ授業は、受験者の表情を教師が読み取れるので、「本当に理解しているか、どうか」が判断でき、確実な言語能力がつく。

二年目

★生活言語能力の育成

- ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。
- ②仕事を自主的にやり、責任を持って業務を遂行する能力を養う。
- ③日本人の高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。
- ④日常会話力が支障なく使える能力を養う。

●国家試験受験能力を養う

- ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えることができる。
- ②専門用語の漢字を「類推して読み、意味理解」できる。
- ③自学で「過去問」を解ける。
- ④スカイプ授業併用型なので、問題・疑問が、その場で解決できる。

三年目

★職域言語能力の育成

- ①業務の実践力を養う。
- ②会議で意見を発言して内容把握でき、メモをとる能力を養う。
- ③話の内容を的確に、まとめる能力を養う。
- ④日本人社会人と同等レベルの言語能力を養う。
- ⑤スカイプ授業なので日本人感覚の「語感・語調」を、正しくプロの教師が養う。

●国家試験合格能力を養う

- ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できる。
- ②日本事情の専門知識を体系的に把握して、読み理解できる。
- ③マークシートの解答ではなく、文章による解答ができる。
- ④専門語彙と専門知識を自学できる。

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】 EPA学習支援 こぼの研究社

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い、言語技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は介護分野では、国家試験合格者を **3年間連続で、80%以上の実績を誇っています。** また、看護分野でも、EPA受験者全体の合格率が10%前後に留まっているのに対して、【到達度試験参加者】の合格率は、**55%**と高い水準を保っています。

これは、**受験者全体の合格率10%の5倍の高さ**を示しており、驚異的な合格率といえます。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で社会人として働ける能力を養うことを、重要視した学習方法です。

さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、介護施設や病院などで実践力のある要員として、育成することを目的としています。

※【到達度試験参加者】には、定期的に試験結果を「考察票」でお送り致します。「考察票」には、指導者用のために、具体的な指導方法を記しておりますので、安心してご指導頂けます。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職域言語能力を養う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」（漢字 熟語）と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 （語彙力・文意力）に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	生活言語能力を養う
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	基礎言語能力を養う
B段階 N2レベル	70% 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字（ひらがな・カタカナ・ 漢字）・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回		受験者の現状の日本語能力を観る。		